

まだらの風



令和6年11月26日
学校便り No.15
校長 原口 真

『 見つけよう自分らしさ、認めよう仲間の良さ、高めよう馬渡の力 』
～自分を愛し、周りの人を愛し、島を愛する児童生徒に～

島内駅伝大会がおわった翌週から気温が急降下しています。校門前で子どもたちを見守ってくれているトップくんも寒そうな様子を見ることが多くなりました。かぜや感染症に気をつけ元気に登校してくれることを願います。

島内駅伝大会～全校児童生徒で島内を激走～

11月14日(木)島内駅伝大会を開催しました。秋晴れに恵まれた汗ばむ陽気の中、消防倉庫から郵便局先までの港内周回コースを、14名の児童生徒が「チームリベンジャーズ」「チーム友達」の2チームに分かれてタスキをつなぎます。レースは両チームが区間ごとに抜きつ抜かれつする大混戦で、多くの選手が自己ベスト記録を更新しました。最後は「チーム友達」がわずかに逃げきって接戦を制し、優勝のゴールテープを切りました。沿道で大きな拍手と声援を送ってくださった島民の皆様に励まされて、小学1年生から中学3年生まで、どの選手も最後まで全力で走り抜くことができました。閉会式では選手の頑張りを讃えて、島民の方々から大きな拍手が送られました。



夢プレゼン～夢を語り努力する子ども、互いの夢を応援できる子どもに～

児童生徒が将来の夢を語る「夢プレゼン」が進んでいます。「赤ちゃんからおじいちゃんおばあちゃんまでみんなに喜んでもらえるケーキ屋さんになりたい」「お客さんに喜んでもらえる建築士をめざす」「やりたいスポーツができる環境を提供するように起業する」「野良猫を育てた経験をいかして獣医になる」など、それぞれが自分の将来の夢を児童、生徒に向けてスライド資料や画用紙を使ってプレゼンテーションします。この夢プレゼンを受けて、子どもたちと



先生たちが「いいねカード」にそれぞれの子どもたちの良さを書いて、全校朝会で紹介しています。この活動を通して、自分の夢をかなえるために頑張ることを具体的に考えたり、学校生活や日常生活に目標を立てたりする子どもが増えています。お互いの良さを承認し合うことで、一人ひとりが大切な存在だと改めて実感させたいと考えて取り組んでいます。

いじめ防止対策委員会～いじめ見逃しゼロをめざして～

11月20日(水)、地域の委員様・育友会長様をお招きして、いじめ防止対策委員会を実施しました。11月までに行った児童生徒・保護者アンケートの結果、「いじめ」の未解決がゼロだったことや、いじめ防止に向けた本校の取組みなどを説明したうえでご意見をうかがいました。委員の方からは「いじめの発生件数が非常に少ない」「職員会議等で全員の様子を共有しているのは良いと思う」などのご意見をいただきました。今後も道徳や人権・同和教育、体験活動の充実など学校全体の活動を通して、自分らしさ、仲間の良さを見つけ認め合う学校づくりを進めていくとともに、教職員の研修を通して「いじめ見逃しゼロ」を目指した取組みを進めていきます。



11月25日に薬物乱用防止教室で駐在所の名古屋様からいただいたお話では、自分が知らないうちに違法薬物を運ばされたり、優しい態度で近寄ってきて利用されたりするケースがあるそうです。違法薬物は心身に与える影響が大きく、依存性が高いため常習化することが多いとのこと。被害を防ぐためには違法薬物に対する正しい考えを持ったうえで、相手が信用できる人物かを見きわめることが必要だとのことでした。

